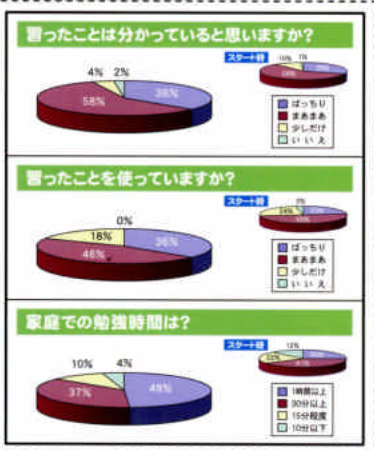


A-1 スタートライン



# 今年度のスタートライン

- 習得させたい基礎・基本となる知識・技能を明確にした授業展開により、学習の習得に関する児童の満足度がアップした。
  - 既習や前時内容の活用を意識した問題解決により、解決の見通しからの思考・判断・表現の活動が充実してきた。
  - 話し合い活動の工夫により、認め励まし合う学習が展開し、家庭学習への保護者と教師との励ましにより学習意欲は向上してきた。
  - 学び合いのための発問の工夫と話型指導により、考えの説明・復唱・比較・検討を進められるようになってきた。
  - ノートづくりの意識向上と話し合い活動により、自分の考えを記録・要約・説明・論述するようになってきた。
- 総合的な問題への既習事項の活用へ
  - 主張できる表現力へ
  - 本校児童に必要な活用力の具体化・明確化へ



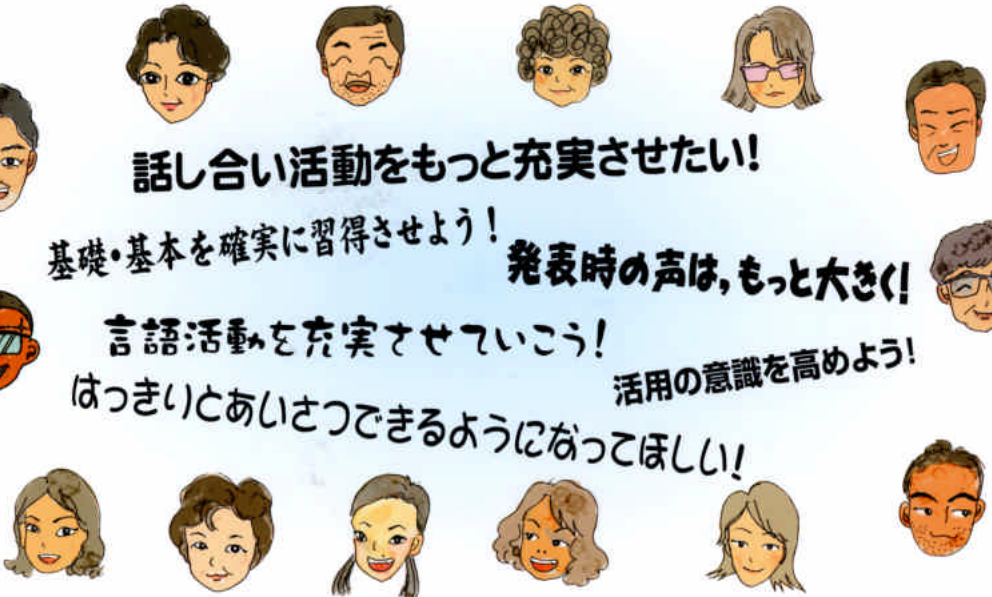
← 中間発表時は、主張できる表現力の物足りなさが、課題として特に気になりました。



- 昨年度研究の講評から** (●は成果, ■は課題)
- PDCAサイクルを意識して、研究授業の成果と課題を明確にした「瓦版」の取り組み
  - 中間発表会後の課題を整理した実践
  - 家庭や中学校と連携した学習習慣と生活習慣形成から学習意欲の向上を図っている点
  - 言語活動の充実等の研究課題を定期的に整理しながらの組織的、計画的な研究を!

**国・県の学力調査結果から**

国語・算数で、基礎的・基本的な知識の定着は見られます。朝の帯タイムや家庭学習の取り組みの成果が表れています。考えを書いて伝える力と数学的な考え方が弱いようなので、全教科で書く活動を重視し、算数では算数的活動を充実させていくべきです。



**話し合い活動をもっと充実させたい!**

基礎・基本を確実に習得させよう!

発表時の声は、もっと大きく!

言語活動を充実させていこう!

活用の意識を高めよう!

はつきりとあいさつできるようになってほしい!